



地域の農業を持続させるための

人づくりに貢献したい

profile

昭和30年3月19日
生まれ。趣味は読書と
渓流釣り。美沢西在住。
65歳。

Spotlight

スポットライト



りよくはくじゅゆうこうしょう

農事功績表彰「緑白綬有功章」受章

佐伯昌彦さん

持 持続可能な有機農業の普及
と、食の安全・安心を消
費者に届ける「洞爺湖ブラン
ド」の確立、新規就農者や青
年農業者への指導・助言など
担い手育成に貢献したことか
ら緑白綬有功章を受章した佐
伯昌彦さん。「就農してから
は常に農業が抱える課題と向
き合い、解決できる方法を考
え、行動してきた結果が今回
の受章に繋がったと思いま
す」と受章の喜びを話します。

佐伯さんは、洞爺湖町出身

で大学卒業後は大学院に進み
ましたが「農業の現場で起き
ている課題と向き合いたい」
との思いが原動力となり、25
歳のときに就農しました。

30歳代後半には、化学農薬
や化成肥料に依存する近代農
業では本来の地力が落ちるこ
とを実感し、土づくりに是有
機的な農業を取り入れ、持続
可能な農業とは何かを常に考
えながら実践してきました。
同じころ、ニュージーランド
の農業に触れ、「農業は楽し

い場でなければならない」と
思ったと話します。

平成8年に北海道指導農業
士に認定されてからは後継者
の育成や新規就農を志す人に
研修の場を提供したり支援を
してきました。新規就農や雇
用就農する場合の難しさもあ
りましたが、自分自身の勉強
にもなったと言います。

平成17年には、土づくりに
こだわる農業者集団で組織す
る株式会社マルタの代表取締
役社長に就任。全国各地の生
産者と出会うことで農業の魅
力や可能性を再認識し、そこ
で働く人たちの喜びや感動に
触れたことで、後継者や担い
手の育成に力を入れて行かな
ければならない使命感を感じ
ました。

最後に佐伯さんは「地域農
業を持続させるために必要な
後継者や担い手の育成、新規
就農希望者や研修生などの農
業を志す人たちへの支援を通
して、農業が抱える課題を解
決するためにこれまでの経験
を活かし、少しでも力になり
たい」と意気込みを語ります。

東奔西走



昨 年末や新年はじめには大雪となりましたが、だんだん暖
かくなり、雪もとけ始めてきたように感じます。このま
ま暖かくなり、春が近づいてくるのが待ち遠しいです。(C.K)
今 年の節分は2月2日でした。節分が2日となったのは12
4年ぶりのことでとても珍しい現象となったようです。
我が家では恵方巻を食べ、豆まきをして無病息災を願いまし
た (M.O)

今月のワンショット



雲の隙間から見える朝日